

# **鉄道の利用促進に係る 来年度当初予算の要求状況**

## 【新規】JR在来線利用促進事業

JR在来線の維持・確保を図るため、各種データの分析により、実効性のある利用促進策を立案し、鉄道利用の機運醸成や新たな利用者の獲得につなげる事業を実施します。

### 1 JR在来線利用促進検討事業 《要求額：12,671千円》

各種統計データやパーソントリップ調査等により新たに得られるデータを分析し、実効性のある利用促進策を立案

### 2 JR在来線利用促進キャンペーン事業 《要求額：21,455千円》

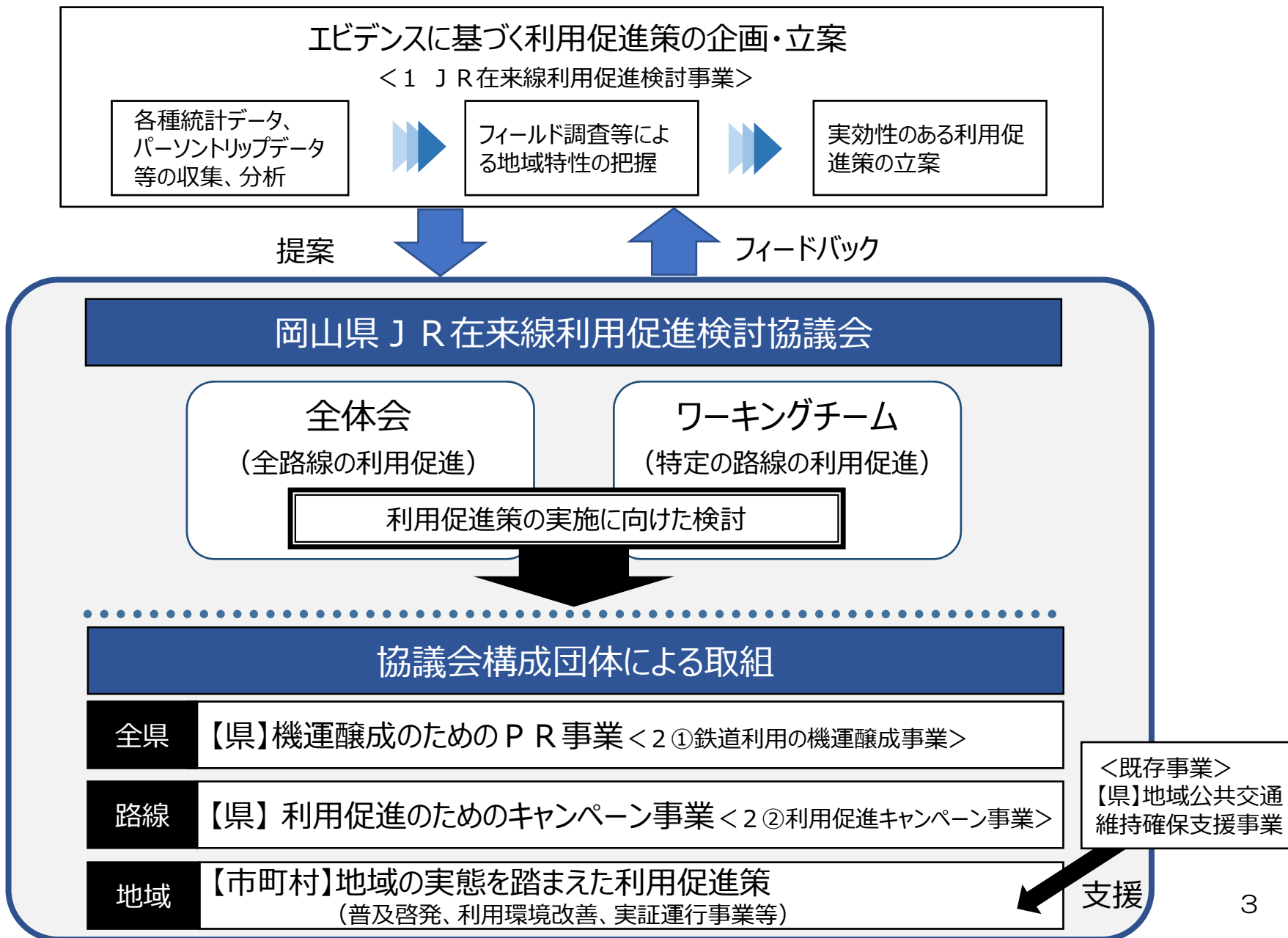
#### ①鉄道利用の機運醸成事業

マスメディアやネット媒体等を利用して、鉄道が日常生活にとって重要な移動手段であることを広く周知

#### ②利用促進キャンペーン事業

実際にJR在来線を利用していただくためのきっかけづくりとして、イベント性のあるキャンペーンを実施

# 【新規】JR在来線利用促進事業



## 【継続】地域公共交通維持確保支援事業（鉄道利用促進事業）

＜予算要求額＞15,000千円（参考：R4年度 5,000千円）

＜補助要件＞

- ・市町村（政令市を除く）又は補助事業を行う団体であって、その構成員に1以上の市町村を含むもの。
- ・鉄道の利用促進を目的とした地域内交通の改善に要する事業で、原則市町村が行うもの（委託して行う事業を含む。）に限る。

事業区分	補助対象経費	補助率	補助限度額
調査・検討、普及啓発等事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策立案又は効果検証のための調査（データの収集・分析、アンケート、計画策定、専門家の招聘、先進地視察等）</li> <li>・情報発信（新聞、雑誌、SNS等の広告経費等）</li> <li>・定期券購入費助成</li> <li>・その他効果が見込まれるもの</li> </ul> <p>※ソフト事業により、効果的な施策の立案、鉄道利用の機運の醸成、認知度の向上による誘客などにより、利用促進につながるもの</p>	1 / 2以内	1,000千円
駅施設等の利用環境改善事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎、駅周辺施設の修繕（トイレ、待合室、駐輪場の修繕等）</li> <li>・駅の備品等の整備（Wi-Fi整備、乗換案内板の設置等）</li> </ul> <p>※ハード事業により、利便性の向上等が図られ、利用促進につながるもの</p>	1 / 2以内	2,000千円
実証運行（運航）事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次交通の実証運行（運航）</li> </ul> <p>※駅の利用促進を主目的として、抜本的な見直しをしたものに限る（新規路線の開設など）</p>	1 / 2以内	5,000千円
交付上限額			5,000千円